

# 多種多様な背景により移り変わる「ひろしま」のイメージカラー

今川 朱美\*・内田 圭\*\*

(令和5年11月24日受付)

Hiroshima image color changes with diverse backgrounds.

Akemi IMAGAWA and Kei UCHIDA

(Received November 24, 2023)

## Abstract

On this basis I then assigned the students to obtain and sample a color item typical of Hiroshima and write a report. This required both field work and the use of reference materials. Even students with little experience of writing reports were interested in the topic, and I gave a model to them and to them explained how they should carry out their investigation. After setting similar assignments for the past some years.

Based on statistical analyses of the reports submitted: "Impressive as an Urban Image in Kyoto". Before the fifth group carried out their assignment I showed them the published papers, which included the names of students whose reports I cited, and nearly all the students voluntarily submitted several reports each.

In choosing the present topic, I aimed to have the students sample Hiroshima's color culture for themselves, become aware of the long history behind its flavors, and come in contact with traditions unique to Hiroshima. Of the 603 reports (82 reports in 2008) received in 2014-2023, most of the students chose "red" from Miyajima, carp and a war. When they think of Hiroshima's Red, every gradation of feeling from joy to grief and history gave the image of color from red to Orange. Also, I have compared vermilion-scarlet in Kyoto with red-crimson in Hiroshima. Color differs from city to city, because each city has a long and glorious history and changes its appearance as well as image of color with surprising.

**Key Words:** color landscape, Urban Design, image color of Hiroshima

## 1. 研究の背景と目的

まちづくりを考える上で、その地域の歴史のみならず、生活や文化を知ることは重要である。また、「色」をたどることは、その国の文化をたどることだとも言われており、色とは単なる色彩の現象ではなく、様々な事柄を伴って存在している。色の意味を追求すれば、その地域の風習

や価値観、美意識などをさぐる手がかりとなることはいうまでもない。近年では、景観の要素としても色彩が重要なキーになっていることが認識され、「美しい景観=色彩の美」であるとも言われている。地域計画の手法として、地域のイメージカラーを戦略的に使用する例も見られ、景観条例などによる色の規制も盛んに行われるようになった。これまでに、京都の色(今川, 2008)、広島の色(今川,

\* 広島工業大学工学部環境土木工学科

\*\* 広島工業大学大学院建設工学専攻

2009) と、国際観光都市である二つの都市をイメージする色について、文化的背景を踏まえながら比較を行った。

その後10年以上経過したことから、広島の色について、再考することとした。本学の環境土木工学科3年生を対象とした「空間創造設計(必修)」を履修した学生に「広島の色」と題するレポート課題を与えた。色に関して、無関心であった学生に、色のメカニズムを説明し、都市計画及び景観上どの様な効果があるのか、また、色彩計画について講義を行ったうえで、「広島の色を探そう」と呼びかけた。また、「広島をイメージする色」について説明し、広島はどこにそのようなシンボリックな色があるのか記憶をたどり、実際に見に行き、色を確かめて、その色はどういう色なのかを調べるように指示を与えた。2014年度53人、2016年度67人、2018年度90人、2019年度70人、2020年度66人、2021年度99人、2022年度72人、2023年度86人のレポートの提出があった。

そのレポートを基に、広島の色について考察し、色から広島像を浮き上がらせようというのが、目的である。

まず、提出されたレポートをカテゴリーごとに分類した。広島には公共の色彩を考える、「広島パブリックカラー研究会<sup>\*1)</sup>」は、広島の色を15のカテゴリーに分類している。それを参考にしながら、独自のカテゴリーも加え、①広島の公共交通機関の色、②広島の建築物と工作物の色、③広島の自然の色、④広島の地域・企業・学校・チーム色、⑤広島の食べ物の色、⑥広島と戦争の色、の6つのグループに分類した。(図1)カテゴリー別にみると、①公共交通が対象とするもの:12色、②広島の建築物と工作物:288色、③広島の自然の色:57色、④広島の地域・企業・学校・チーム色:145色、⑤広島の食べ物の色:37本、⑥広島と戦争の色:55色となっている(イメージごとでRGBが同じものもあるが別色とみなしカウントした)。

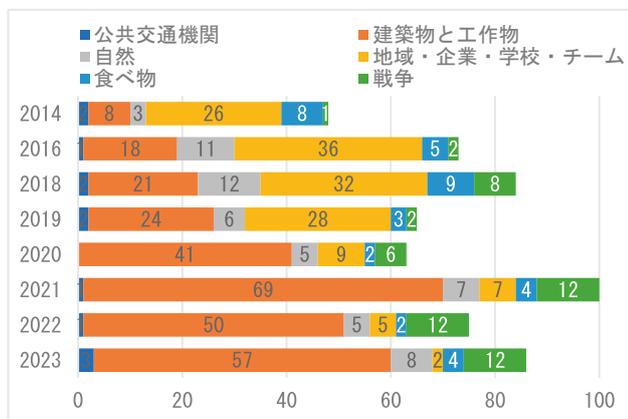


図1-1 年度別色カテゴリーの割合

## 2. 広島の公共交通機関の色

2009年の調査では、広島電鉄(路面電車)の関係の色を示していたのは9名。そのうち6件がグリーンムーバーの色を選んでいった。グリーンムーバー5000形の導入は1999年からであり、2005年からは、超低床車5100形導入されており、本年度5月に開催された「G7広島サミット」の期間中、5100形5101号「G7広島サミットラッピング電車」を運用していた。すでにラッピングは解除され、20年以上となる車両は運用離脱を計画している。2014年以降の調査では、広電色6件のうち3件がグリーンムーバーであり、割合を見るとかなり少数派となっている。ここに見られるのではないのか。

表2-1 広島の公共交通機関の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R 0 G147 B160	1	5000型グリーンムーバー
	R12 G125 B141	1	〃
	R21 G96 B109	1	〃
	R50 G104 B64	1	1900形(広島電鉄)
	R40 G59 B40	1	650形(広島電鉄)
	R62 G86 B50	1	700形(広島電鉄)
	R253 G207 B 0	1	アストラムライン
	R209 G136 B31	1	〃
	R253 G188 B 0	1	JR西日本旧型(115系電車)車両
	R231 G 0 B18	1	カーブ電車(山陽本線)
	R242 G55 B40	1	山陽線のラインカラー
	R139 G16 B34	1	Red Wing(JR電車)

広電の乗客数は2009年からしばらくは横ばいであったが2019年には激減している。コロナ感染症の拡大が原因としているが、交通関連の色を思い浮かべる人が少なくなった一因であると言える。

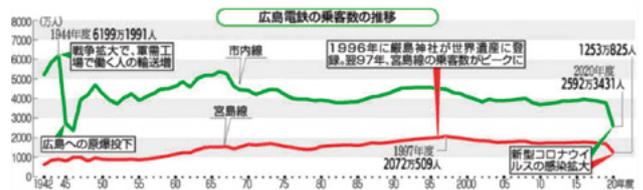


図2-1 広島電鉄の乗客数の推移

出典:中国新聞:2021年12月31日

「広電の路面電車110年 乗り越えた2度の危機」

他の広島の交通に、アストラムラインがあった(2色)。アストラムラインは1994年から開業した広島高速交通株式会社が運営する新交通システム「広島高速交通広島新交通1号線」の愛称である。表1に示した抽出されたアストラムラインの車体の色はR253 G207 B0のクロムイエロー(和名:山吹色)という色である。このクロムイエローという色には「平和・寛大・理想」と象徴するもので、国際

平和文化都市を目指す広島市の平和のイメージにふさわしい。



図 2-2 アストラムライン

### 3. 建築物や工作物の色

建築物や工作物の色で最も多かったのは工作物で121件の厳島神社大鳥居であった。

厳島神社の朱は、洗朱（平安期）と呼ばれる漆の色である。朱は漆に顔料である「本朱（別名：辰砂（しんしゃ）、硫化第二水銀）」といった鉱物質を粉砕したものを混ぜていた。漆は塗られた後もゆっくりと固化して色合いが変化し、時間の経過とともに顔料の赤がより鮮明になる。1909年の塗替え時は、接着剤にニカワを、顔料に鉛丹（酸化鉛）が使われた。2022年令和の大修理では、古い塗膜を刃物でかき落とす作業の後、接着剤にアクリル樹脂3度塗を施し強度を高めている。色を出す成分には、無害で耐久性に優れた有機質の顔料を使用し、品質が高く環境に優しい塗料が開発されている<sup>※2</sup>。2023年10月末は鳥居の足元の補修塗装がなされていた（図3）。

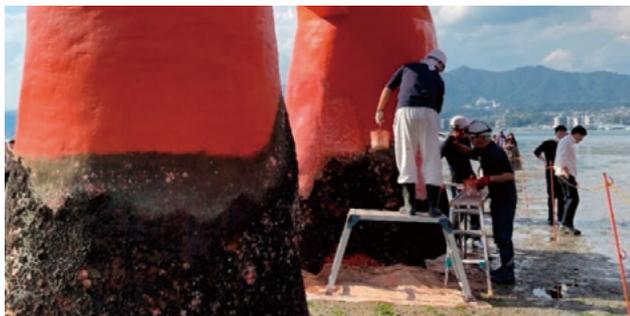


図 3-1 大鳥居の補修塗装（2023年10月27日）

レポートの中には厳島神社から人々に与える影響について示してあるものがあつた。視界に飛び込む厳島神社の大鳥居は薄いオレンジ色をしている。この色の効果には「元気・楽しい」などポジティブな要素が多く、鑑賞者の気持ちを高める色である。神社手前に広がる海は淡い水色で「幸福・自由・聡明」な解放感を与える。最後に鳥居の背後にある山々のオリーブ色は「癒し・沈静・調和」などリラックス効果を与える。宮島の美しさは海の色と山の色が厳島神社の大鳥居の存在感を引き立てることによって成り立っているのである。



図 3-2 厳島神社（2021年度 AE19042）

表 3-1 建築物や工作物の色「大鳥居」

色	抽出された色	色	抽出された色	色	抽出された色
2014	R253 G101 B 2	2020	R254 G201 B166	2021	R184 G64 B52
2014	R248 G101 B67	2020	R254 G159 B40	2021	R142 G56 B35
2014	R237 G112 B27	2020	R252 G163 B61	2021	R111 G23 B22
2014	R228 G72 B24	2020	R252 G172 B104	2021	R108 G43 B21
2014	R215 G28 B 6	2020	R249 G144 B90	2021	R86 G 2 B 1
2014	R197 G11 B 5	2020	R249 G145 B50	2022	R255 G177 B90
2016	R255 G39 B10	2020	R246 G122 B44	2022	R254 G195 B11
2016	R255 G166 B89	2020	R238 G136 B79	2022	R253 G137 B86
2016	R255 G167 B74	2020	R236 G155 B126	2022	R252 G111 B51
2016	R255 G175 B10	2020	R235 G147 B117	2022	R248 G66 B47
2016	R241 G76 B59	2020	R232 G145 B109	2022	R248 G137 B69
2016	R239 G76 B 3	2020	R225 G157 B48	2022	R242 G47 B48
2016	R236 G117 B72	2020	R212 G97 B64	2022	R233 G145 B97
2016	R224 G116 B 4	2020	R161 G61 B39	2022	R231 G81 B55
2016	R223 G119 B54	2020	R148 G84 B29	2022	R230 G102 B30
2018	R255 G60 B10	2020	R121 G35 B 0	2022	R229 G101 B48
2018	R255 G140 B 0	2020	R114 G26 B14	2022	R215 G120 B78
2018	R255 G177 B13	2020	R113 G29 B21	2022	R201 G66 B 0
2018	R255 G204 B10	2020	R108 G24 B21	2022	R181 G109 B64
2018	R245 G168 B97	2021	R255 G121 B72	2022	R130 G46 B11
2018	R242 G103 B48	2021	R255 G175 B113	2022	R120 G30 B 1
2018	R240 G100 B 5	2021	R254 G111 B71	2022	R118 G32 B18
2018	R229 B70 G27	2021	R253 G86 B59(2)	2022	R115 G46 B25
2018	R214 G111 B71	2021	R253 G106 B49	2022	R111 G27 B26
2018	R208 G95 B18	2021	R253 G148 B43	2022	R89 G41 B29
2018	R201 G97 B55	2021	R253 G155 B89	2023	R251 G72 B42
2018	R171 G96 B78	2021	R253 G171 B101	2023	R241 G155 B110
2019	R255 G192 B12	2021	R252 G149 B 5	2023	R240 G128 B91
2019	R252 G115 B72	2021	R252 G172 B104	2023	R235 G97 B 1
2019	R249 G138 B57	2021	R251 G153 B62	2023	R221 G85 B 4
2019	R216 G51 B 3	2021	R248 G128 B66	2023	R221 G88 B14
2019	R214 G60 B62	2021	R246 G78 B 3	2023	R212 G118 B89
2019	R211 B66 G 0	2021	R245 G129 B58	2023	R212 G133 B100
2019	R207 G41 B17	2021	R238 G137 B 3	2023	R191 G69 B 2
2019	R200 G45 B14	2021	R237 G135 B 4	2023	R184 G93 B63
2019	R177 G54 B35	2021	R236 G176 B136	2023	R117 G25 B 7
2019	R129 G40 B36	2021	R213 G33 B 1	2023	R110 G22 B 8
2020	R255 G 0 B 0	2021	R206 G44 B61	2023	R100 G40 B 8
2020	R255 G125 B 0	2021	R197 G67 B 0	2023	R95 G39 B42
2020	R255 G156 B81	2021	R196 G99 B56	2023	R90 G39 B24

建築物では53件の厳島神社本殿が選ばれている。国宝厳島神社は、1996年に世界遺産に登録されたため、知名度が上がり、2012年には宮島来島者数が年間400万人を超え、2019年には年間来島者数最多の4,657,343人を記録している。来島者数の増加と、大鳥居とともに厳島神社の色と広島の色と認識する者の増加が確認できる。その後はコロナ感染症の影響で半数以下に減少したが、本年2023年には5月のG7広島サミットのメンバーが厳島神社を訪れている。観光客数の多い名所故、その色を多くの学生が選んでいることが確認できた。色に濃淡があるのは、海から神社外観を見ると深い色となるが、神社社屋に入ると鮮やかなオレンジ色（平安時代の朱）であるため、色の抽出条件によって多様な朱色が示されることとなったのである。

表3-2 広島 of 建築物の色「厳島神社」

色	抽出された色	件数	色	抽出された色	件数
2014	R206 G 7 B 0	1	2021	R195 G 3 B 4	1
2016	R244 G86 B 0	1	2021	R190 G62 B35	1
2016	R241 G76 B59	1	2021	R179 G62 B72	1
2016	R238 G80 B20	1	2021	R173 G45 B18	1
2016	R216 G66 B51	1	2021	R168 G42 B15	1
2016	R153 G51 B42	1	2021	R160 G40 B 2	1
2018	R221 G74 B20	1	2021	R155 G37 B32	1
2019	R255 G85 B43	1	2021	R134 G75 B63	1
2019	R231 G58 B15	1	2021	R114 G24 B14	1
2019	R228 G 8 B 8	1	2021	R69 G18 B23	1
2019	R221 G71 G38	1	2022	R255 G40 B 1	1
2019	R219 G83 B59	1	2022	R243 G107 B49	1
2019	R196 G67 B62	1	2022	R237 G108 B35	1
2019	R189 G61 B27	1	2022	R231 G120 B84	1
2019	R139 G59 B36	1	2022	R204 G97 B64	1
2020	R220 G63 B 0	1	2022	R145 G58 B35	1
2021	R255 G76 B 0	1	2022	R123 G36 B24	1
2021	R255 G102 B78	1	2023	R253 G81 B14	1
2021	R255 G158 B69	1	2023	R252 G95 B54	1
2021	R254 B37 G 2	1	2023	R245 G78 B 5	1
2021	R246 G42 B42	1	2023	R227 G144 B66	1
2021	R241 G40 B10	1	2023	R213 G121 B64	1
2021	R234 G102 B84	1	2023	R203 G45 B10	1
2021	R230 G110 B77	1	2023	R151 G68 B42	1
2021	R218 G105 B80	1	2023	R104 G39 B28	1
2021	R215 G97 B70	1	2023	R93 G46 B40	1
2021	R212 G28 B 0	1			

MAZDA Zoom-Zoom スタジアムは2009年に建設されたため、前回（2008）の調査では抽出されていない。広島カープの専用球場であるが、スタジアム（外壁）の色は広島カープ球団色の「ソウルレッド」ではなく、暗めの赤色となっている（図3-3）。広島カープは2016年に25年ぶりの優勝を果たしたが、その後の調査2018年からスタジアムの色を選ぶ人が見られるようになった。色の濃淡は。写真からRGBを確認すると、太陽光の影響により抽出箇所による変化が生じる。1人だけコンクリート色を選んでいる。



図3-3 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム

表3-3 広島 of 建築物と工作物の色「マツダスタジアム」

色	抽出された色	件数	色	抽出された色	件数
	R237 G229 B224	1		R117 G76 B82	1
	R206 G124 B110	1		R117 G77 B78	1
	R205 G126 B113	1		R116 G78 B79	1
	R201 G117 B104	1		R115 G79 B80	1
	R200 B16 G46	1		R115 G78 B79	1
	R197 G116 B103	1		R114 G75 B76	1
	R195 G129 B133	1		R114 G79 B80	2
	R189 G100 B92	1		R112 G72 B74	1
	R187 G118 B113	1		R112 G72 B75	1
	R182 G112 B133	1		R112 G75 B75	1
	R180 G 8 B55	1		R111 G68 B69	1
	R169 G69 B93	1		R111 G68 B78	2
	R167 G78 B81	1		R111 G72 B73	1
	R159 G64 B68	1		R108 G79 B75	1
	R157 G108 B111	1		R106 B63 G75	1
	R154 G73 B84	1		R104 G60 B72	1
	R152 G96 B95	1		R104 G62 B63	1
	R146 G76 B80	1		R102 G81 B100	1
	R146 G90 B93	1		R101 G27 B69	1
	R133 G47 B54	1		R101 G57 B58	1
	R128 G82 B95	1		R93 G52 B60	1
	R121 G78 B85	1		R91 G30 B68	1
	R120 G79 B79	1		R78 G24 B26	1
	R118 G68 B72	1			

その他の建築物として表2-4を見ると、宮島の五重の塔や、ボートレース場、水族館など、宮島周辺に集中を見ている。また、広島城（11件）も多く選ばれている。

表3-4 広島市の建築物と工作物の色「その他の建築物」

色	抽出された色	件数	イメージ
	R255 G43 B 4	1	宮島 五重塔
	R235 G119 B99	1	〃
	R160 G67 B62	1	〃
	R152 G34 B 8	1	〃
	R141 G35 B14	1	〃
	R51 G77 B255	1	宮島水族館の水槽
	R78 G133 B215	1	宮島ボートレース場
	R175 G145 B109	1	広島城
	R148 G48 B23	1	〃
	R138 G139 B136	1	〃
	R120 G121 B116	1	〃
	R118 G127 B66	1	〃
	R88 G74 B61	1	〃
	R75 G78 B76	1	〃
	R63 G68 B75	1	〃
	R55 G63 B65	1	〃
	R50 G59 B76	1	〃
	R234 G224 B182	1	広島城の壁の色
	R245 G233 B233	1	広島護国神社
	R207 G198 B189	1	〃
	R111 G57 B51	1	広島東照宮
	R164 G41 B20	1	愛宕神社
	R100 G80 B69	1	大聖院摩尼殿
	R142 G155 B168	1	広島県立総合体育館
	R212 G143 B128	1	広島翔洋テニスコート
	R75 G108 B142	1	広域公園テニスコート
	R84 G153 B106	1	広島競輪場
	R133 G140 B146	1	広島駅
	R255 G255 B248	1	アストラムライン新白鳥駅
	R122 G131 B76	1	エディオンスタジアム
	R44 G61 B69	1	広島県庁舎東館
	R255 G255 B255	1	広島工業大学 Nexus21
	R222 G184 B135	1	尾道 U2
	R77 G131 B207	1	シティータワー広島
	R121 G56 B34	1	東広島市 屋根瓦
	R47 G64 B67	1	三原駅
	R125 G108 B89	1	芸備線 備後西城駅

また、その他の工作物としては表2-5から音戸大橋などの橋梁が挙げられている。音戸大橋は、呉市の倉橋島と本土を繋ぐ1961年に建設された橋梁である。また、2013年には第二音戸大橋、第三音戸大橋と2つの橋梁も建設されている。周辺は観光地として整備され、3月下旬～4月上旬には300本の桜、4月下旬～5月初旬には本土側に8300本のツツジが咲き、音戸大橋の赤色と合った美しい景観となっている。また、音戸大橋の両端の道路が螺旋状になっている点も特徴である。



図3-4 音戸大橋 出典：広島県 HP より

その他には、鞆の浦の常夜灯や、瀬戸田の未来心の丘などの観光地と知られる箇所が広島の色として選ばれている。

表3-5 広島市の建築物と工作物の色「その他の工作物」

色	抽出された色	件数	イメージ
	R120 G122 B122	1	広島護国神社大鳥居
	R255 G84 B77	1	音戸大橋
	R173 G53 B52	1	〃
	R172 G47 B46	1	〃
	R219 G 1 B22	1	第二音戸大橋
	R202 G19 B68	1	〃
	R122 G133 B129	1	願橋
	R207 G212 B212	1	因島大橋
	R93 G111 B130	1	大芝大橋
	R237 G229 B224	1	安芸灘大橋
	R208 G65 B52	1	宮島 紅葉橋
	R69 G82 B82	1	温井ダム
	R186 G124 B159	1	鞆の浦 常夜灯
	R118 G107 B80	1	〃
	R209 G207 B213	1	未来心の丘
	R165 G177 B193	1	〃
	R161 G63 B63	1	マツダスタジアム入口看板
	R215 G20 B24	1	広島市デザインマンホール
	R204 G 0 B 0	1	カーブ マンホール
	R250 G50 B60	1	公園の遊具

特殊な例としては、全国チェーンのコンビニエンスストア「ローソン」であるが、マツダスタジアム周辺などに、店舗カラーの水色を「赤」に変更している。中国新聞によると2010年の7月に外観の変更がなされ、スタジアム周辺のローソンは順次カーブをイメージする外観に変更している。また、ロゴ、柱、駐車場の縁石から真っ赤に染まっており、壁にはカーブ坊やのイラストも大きくプリントされている。店舗内にもカーブの応援グッズ等を取りそろえており、地域になじむ店舗を目指している。球場周辺もカーブ色で染まっていることで町全体に一体感を感じ、また赤色から熱気を感じられるものとなっている。

表3-6 その他の建築物の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R255 G157 B158	1	ローソン
	R253 G92 B92	1	〃
	R170 G43 B61	1	〃
	R131 G23 B28	1	〃
	R115 G24 B41	1	〃
	R114 G21 B39	1	〃
	R112 G21 B28	1	〃
	R111 G22 B44	1	〃



図3-5 ローソン広島東荒神町店（カーブロード近く）

なお、広島市は「道路景観づくりの手引（1990）」で広島を代表する路線上の工作物の色を定めている。定められていない路線は、地域色によるものとしており、広島市内の工作物などについては、実質色の指定があるということになる。しかし、本調査で抽出された広島の色に、これらの色がみられない、また、類似色が見られたとしても指定された地域外であることから、広島市が政策として推進しているカラーコーディネートが知られていないということになる。

表3-7 地域色

区分色	地域区分
広島アーバングリーン (5B2/1)	中区、南区、西区、東区 (東区の旧安芸町を除く)
クスノキブラウン (10YR2/1)	安佐南区、安佐北区、 安芸区、佐伯区、旧安芸町 広島駅南口周辺

表3-8 路線色

区分色	地域区分
広島アーバングリーン (5B2/1)	中広宇品線（中広町2丁目 - 大正橋） 駅前吉島線（駅前大橋 - 国泰寺） 駅前観音線（白島 - 広島空港前）
相生グレー (5BG4/1)	天満矢賀線（上天満 - 荒神） 御幸橋三篠線（竹屋町 - 白島）
クスノキブラウン (10YR2/1)	比治山庚午線 高陽沼田線（中筋1丁目 - 五月丘）

#### 4. 広島 naturally の色

広島 naturally の色で、最多であったのは宮島の紅葉谷公園などのもみじで19件挙げられた。2009年の結果でも6件（6.3%）選ばれている。もみじは昭和41年に広島 of 「県の木」とされていて、紅葉谷公園の他に表3 of のイメージでも挙げられている帝釈峡や三段峡、縮景園などもみじの名所がある。宮島の厳島神社とその鳥居の赤から関連してこのもみじの赤色が挙げられたことが考えられる。宮島の紅葉谷公園には約700本 of もみじが植えられていて、紅葉シーズンには多くの観光客が訪れる。宮島の美しさは厳島神社 of の美しさに加えて、宮島全体を染めるもみじ of の美しさよるものでもある。このことから広島県民 of のなじみ深いものとしてもみじが広島 naturally の色として選ばれている。

表4-1 広島 naturally の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R250 G48 B3	1	宮島紅葉谷公園 of のもみじ
	R245 G71 B36	1	〃
	R239 G61 B51	1	〃
	R225 G55 B4	1	〃
	R220 G49 B42	1	〃
	R213 G27 B14	1	〃
	R197 G37 B25	1	〃
	R197 G70 B37	1	〃
	R194 G76 B64	1	〃
	R188 G27 B7	1	〃
	R180 G24 B22	1	〃
	R172 G26 B52	1	〃
	R150 G57 B58	1	〃
	R135 G31 B31	1	〃
	R237 G42 B59	1	紅葉谷公園
	R184 G74 B76	1	〃
	R181 G48 B41	1	〃



図4-1 紅葉谷公園 of のもみじ（2020年度 AE18001）

表4-2 広島 naturally の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R102 G66 B30	1	宮島の鹿
	R92 G58 B32	1	〃
	R137 G180 B231	1	宮島の空
	R230 G72 B123	1	宮島花火大会
	R245 G179 B24	1	弥山 消えぬの火の色
	R207 G217 B91	1	帝釈峡
	R239 G114 B39	1	帝釈峡の紅葉
	R145 G141 B60	1	縮景園
	R144 G158 B54	1	〃
	R166 G16 B23	1	縮景園の紅葉
	R72 G79 B89	1	三段峡
	R136 G173 B187	1	瀬戸内海
	R134 G184 B178	1	〃
	R132 G166 B177	1	〃
	R117 G160 B178	1	〃
	R116 G158 B196	1	〃
	R103 G144 B171	1	〃
	R57 G71 B84	1	〃
	R33 G74 B80	1	〃
	R24 G125 B165	1	〃
	R 6 G92 B161	1	〃
	R179 G207 B225	1	尾道市の海
	R 4 G165 B245	1	しまなみ海道の海
	R14 G91 B183	1	鞆の浦 海
	R118 G135 B142	1	太田川
	R115 G128 B138	1	〃
	R113 G134 B131	1	〃
	R92 G123 B140	1	観音マリーナ海浜公園 水
	R255 G71 B 0	1	夕焼け
	R149 G66 B24	1	朝焼け
	R24 G130 B52	1	広島森
	R112 G115 B36	1	広島森林
	R117 G185 B21	1	比治山公園
	R30 G87 B104	1	大芝島
	R 0 G176 B80	1	阿武山
	R146 B208 G80	1	安芸高田市 稲穂
	R250 G 5 B61	1	福山市バラ公園
	R227 G183 B 0	1	海田町のひまわり畑
	R76 G111 B41	1	東千田公園の芝生
	R234 G50 B26	1	鯉

次に瀬戸内海や太田川などの海・川・水に関するものが17件挙げられた。太田川は広島県を流れる一級河川で、広島県の西部を流れ瀬戸内海に注ぐ川である。特に広島市はこの太田川のデルタによって形成されていることから、市街地に6本の河川を有している。市街地に占める水面面積は約13%と全国的に見ても多く、広島市は水の都と呼ばれている。また、広島市街地の河川の護岸は河岸緑地として一連に整備されており、日本でも有数の都市の景観を形成している。

広島の観光地といえば厳島神社や原爆ドームなどであるが、この2つの観光地の近くにはどちらにも海や川が存在している。そういった日常生活の中などで自然と目に入って来るものである事から広島の色として選ばれている。

### 5. 広島の地域・企業・学校・チームの色

広島の地域・企業・学校・チームの色で最も多かったのは145件中の105件選ばれた、カープ関係の色である。色は、カープ坊やなどのロゴやユニフォーム、ヘルメットや応援用のジェット風船から色が抽出されていた。また、2019年には唯一である球団旗から色が抽出されている。

表5-1 「カープ関係」の色「広島カープ」

色	抽出された色	件数	色	抽出された色	件数
2016	R255 G 0 B 0	2	2016	R223 G45 B45	1
2016	R254 G38 B39	1	2016	R216 G39 B40	1
2016	R231 G 0 B18	1			

表5-2 「カープ関係」の色「ロゴ」

色	抽出された色	件数	色	抽出された色	件数
2014	R255 G 0 B 0	1	2018	R255 G40 B40	1
2014	R255 G 1 B 1	2	2019	R255 G 0 B 0	2
2014	R255 G42 B 5	1	2019	R238 G24 B34	2
2014	R254 G 0 B 0	4	2019	R231 G 0 B18	2
2014	R239 G66 B22	1	2019	R199 G27 B43	1
2014	R237 G229 B224	1	2019	R 8 G12 B52	1
2014	R196 G22 B30	1	2019	R232 G18 B26	1
2016	R233 G33 B45	1	2019	R231 G 0 B21	1
2016	R231 G 0 B18	1	2020	R237 G17 B36	1
2016	R230 G 0 B18	6	2020	R230 G 0 B18	1
2016	R229 G 0 B18	2	2020	R229 G 0 B17	1
2016	R226 G42 B52	1	2021	R231 G 0 B18	1
2018	R255 G 0 B 0	8	2022	R243 G 0 B 0	1

年代別で見ると（表5-1、図1）2014年～2019年はカーブ関係を選ぶ学生が多かったが、2020年からその数は激減し2023年の結果ではカーブ関係を選んだ学生は見られなかった。その理由として考えられるのは、カーブ関係は2016年から2018年にかけて3年連続でリーグ優勝を果たし、その印象が強かったためカーブ色が多かったこと、2019年以降はコロナ禍のためスタジアムでの観戦ができなくなったことやリーグ戦での結果が振るわなかったことなどでイメージ数の減少に繋がっていることが考えられる。

表5-3 「カーブ関係」の色「ユニフォーム」

色	抽出された色	件数	色	抽出された色	件数
2014	R251 G 9 B27	1	2016	R231 G 0 B21	1
2014	R249 G88 B68	1	2018	R230 G 0 B18	1
2014	R214 G 0 B15	1	2018	R221 G 0 B 0	1
2014	R200 G37 B34	1	2018	R200 G16 B46	1
2014	R185 G40 B40	1	2018	R180 B 0 G 0	1
2014	R180 G45 B37	1	2019	R255 G54 B80	1
2014	R165 G42 B40	1	2019	R242 G45 B52	1
2016	R248 G46 B70	1	2019	R238 G 2 B14	1
2016	R246 G82 B62	1	2019	R215 G23 B46	1
2016	R234 G31 B50	1	2019	R193 G25 B24	1
2016	R232 G18 B26	1	2019	R188 G17 B23	1

表5-4 その他の地域・企業・学校・チームの色

色	抽出された色	件数	イメージ
2014	R185 G44 B43	1	ヘルメット
2018	R223 G45 B46	1	〃
2020	R182 G24 B47	1	〃
2022	R223 G60 B64	1	〃
2016	R227 G 3 B19	1	帽子
2016	R255 G49 B31	1	風船
2016	R251 G89 B88	1	〃
2016	R235 G54 B47	1	〃
2016	R205 G22 B27	1	〃
2016	R200 G30 B67	1	
2018	R255 G 0 B 0	2	
2018	R237 G27 B39	1	
2018	R226 G 8 B 5	1	
2018	R225 G40 B30	1	
2019	R250 G60 B62	1	
2019	R245 G51 B75	1	
2019	R189 G 5 B 7	1	
2019	R185 G47 B45	1	
2019	R175 G28 B57	1	

また、イメージ別で見ると2016年から2019年では応援用のジェット風船から色を抽出している学生が見られるが、コロナ禍でジェット風船が使用禁止となったため2020年から皆無となっている。

表5-5 その他の地域・企業・学校・チームの色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R148 G 0 B211	1	サンフレッチェ広島エンブレム
	R117 G89 B140	1	〃
	R114 G19 B157	1	〃
	R100 G65 B150	1	〃
	R99 G65 B148	2	〃
	R81 G48 B143	3	〃
	R79 B47 G141	1	〃
	R55 G38 B119	1	〃
	R123 G115 B188	1	サンフレッチェ広島ユニフォーム
	R120 G45 B130	1	〃
	R95 G40 B113	1	〃
	R81 G49 B146	1	〃
	R80 G65 B155	1	〃
	R70 G124 B37	2	エディオンスタジアムの芝
	R 0 G173 B125	1	JT サンダース広島
	R 3 G149 B146	1	〃
	R255 G102 B 0	1	広島ドラゴンフライズユニフォーム
	R206 G11 B10	1	マツダ アテンザ
	R157 G 1 B 4	1	〃
	R250 G41 B51	1	マツダ RX-8
	R205 G 0 B45	1	マツダ CX-5
	R255 G 0 B 0	1	マツダ車
	R200 G16 B46	1	マツダ ロードスター
	R141 G168 B195	1	尾道
	R141 B110 G102	1	西条 酒蔵通り
	R87 B112 G132	1	〃
	R94 G59 B33	1	竹原町並み保存地区
	R246 G195 B10	1	呉の祭り ヤブ
	R158 G52 B60	1	お好み村
	R65 G54 B52	1	平の屋（府中焼き店）
	R208 G88 B90	1	赤ヘルツイン 飲食店
	R153 G47 B59	1	広島県県章
	R124 G62 B77	1	〃
	R51 G204 B255	1	STU48
	R30 G179 B226	1	マスコットキャラクター呉氏
	R87 G74 B91	1	山本浩二

その他の地域・企業・学校・チームの色では、サンフレッチェ広島（16件）やJTサンダーズ広島などのプロスポーツチームやMAZDA社の車、尾道などの歴史的な街並みに関する色が挙げられている。広島カープもであるが、サンフレッチェなどのチームは、チームカラーを設定しているが、視認する側の意識は高くないため、指定色から一定の彩度明度の違いであれば色の背景にチームなどをイメージすることができるということがわかる。

## 6. 広島のお食べ物の色

広島のお食べ物の色では、広島の名産物のもみじ饅頭（14件）やお好み焼き（5件）、お好み焼きソース（5件）が選ばれている。お好み焼き店舗数<sup>※3)</sup>と1世帯当たりソースの支出額<sup>※4)</sup>はいずれ広島が日本一となっていることから、これらは広島のソウルフードであることが確認できる。

広島レモンも10色選出されている。2009年にはこのレモンを選んだ学生は皆無であったが、知名度が上がってきていることが分かる。広島はレモンの産地であり、全国の生産量の約56%（2023）<sup>※5)</sup>を占め、日本1となっている。主な生産地として呉市、尾道市、大崎上島町が挙げられる。レモン産業が盛んな理由としてレモンの育成期好条件があり、瀬戸内の温暖で雨の少ない気候がレモン栽培とよく合っているため産業が盛んとなっている。広島レモンにはグリーンレモンやイエローレモン、ハウスレモンなどの種類がありその栽培時期をずらすことで1年を通して出荷されている。また、広島県ではレモンの知名度を上げる取り組みも行われており、カープのソウルレッドや厳島神社の朱色に対抗して、広島といえばレモン色というイメージが定着しつつある。

表 6-1 広島のお食べ物の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R157 G47 B48	1	お好み焼き
	R141 G28 B 0	1	〃
	R137 G64 B32	1	〃
	R120 G47 B11	1	〃
	R103 G56 B32	1	〃
	R255 G102 B 0	1	お好み焼きソース
	R170 G60 B10	1	〃
	R136 G91 B64	1	〃
	R131 G60 B11	1	〃
	R42 G14 B10	1	〃

表 6-2 広島のお食べ物の色「もみじ饅頭」

色	抽出された色	色	抽出された色
	R253 G86 B59		R174 G77 B26
	R217 G127 B90		R168 G74 B23
	R213 G120 B87		R154 G82 B44
	R197 G127 B70		R153 G76 B 0
	R190 G120 B65		R137 B91 G65
	R181 G83 B48		R113 G58 B25
	R181 G110 B56		揚げもみじ饅頭
			R190 G99 B42

表 6-3 広島のお食べ物の色「広島レモン」

色	抽出された色	色	抽出された色
	R255 G218 B 0		R246 G198 B 4
	R255 G230 B32		R235 G215 B40
	R255 G232 B147		R230 G187 B58
	R253 G253 B160		R219 G152 B21
	R250 G223 B79		R206 G179 B12

表 6-4 広島のお食べ物の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R48 G155 B12	1	広島菜
	R165 G150 B149	1	穴子
	R109 G104 B137	1	オオサンショウウオこんにやく

## 7. 広島のお戦争の色

広島の色として戦争をイメージさせるモノや事柄の色を選んだものは55件あった。その内30件が原爆ドーム、11件が平和記念公園とその樹木、その他原爆慰霊碑や資料館、呉基地の海上自衛隊に関する色が挙げられた。

原爆ドームから色を抽出した学生は、原爆ドームの壁から抽出したものが多かったが、屋根の鉄骨の部分から抽出された色を図7-1、図7-2に示す。これらの色が大きく異なるが、これは、原爆ドーム保存工事により、ドーム天蓋部分の塗装が行われたためである。保存工事は1967年、1990年、2003年、2016年、2021年と5回実施しており、2021年の保存工事により本来の原爆ドームの色が復活している。

図7-1は2019年の原爆ドームであるが、老朽化が進み、「茶色に若干のピンクがあった色」に変色している。その後の2021年の保存工事では、被爆直後に米軍が撮影した写真を基に、色の推定を行い、錆転換型下塗りの上、ふっ素樹脂塗料（弱溶剤形）により全面塗装を施している。そし

て、図7-2は、ドームの色を、「濃いグレーのような焦げ茶色」としている。原爆ドームの色が、被爆当時の鉄骨の色に戻されたことにより、広島の色の一つが復元され、復活を果たしたのである。

表7-1 広島戦争の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R222 G214 B191	1	原爆ドーム 壁
	R208 G206 B206	1	〃
	R198 G188 B148	1	〃
	R196 G178 B164	1	〃
	R194 G188 B170	1	〃
	R193 G160 B121	1	〃
	R186 G185 B190	1	〃
	R184 G156 B151	1	〃
	R183 G172 B163	1	〃
	R171 G160 B159	1	〃
	R165 G155 B135	1	〃
	R163 G142 B136	1	〃
	R156 G138 B113	2	〃
	R155 G137 B133	1	〃
	R155 G155 B155	1	〃
	R149 G141 B138	1	〃
	R145 G138 B132	1	〃
	R142 G138 B132	1	〃
	R141 G155 B155	1	〃
	R139 G157 B164	1	〃
	R131 G134 B125	1	〃
	R112 G101 B101	1	〃
	R99 G104 B103	1	〃
	R86 G89 B67	1	〃
	R82 G70 B68	1	〃
	R77 G80 B81	1	〃
	R67 G74 B83	1	〃
	R165 G146 B141	1	原爆ドーム 屋根の鉄骨
	R63 G69 B78	1	〃



■ R165 G146 B141  
2019年撮影 (AE19017)



■ R63 G69 B78  
2021年撮影 (AE19023)

図7-1 原爆ドーム (2019)

図7-2 原爆ドーム (2021)



図7-3 ドーム天蓋部施工前(左)と竣工後(右)  
(出典:広島市)

表7-2 広島戦争の色

色	抽出された色	件数	イメージ
	R128 G128 B32	1	平和記念公園の樹木
	R112 G120 B50	1	〃
	R102 G255 B102	1	〃
	R101 G112 B25	1	〃
	R86 G104 B52	1	〃
	R86 G106 B12	1	〃
	R80 G106 B33	1	〃
	R66 G118 B67	1	〃
	R0 G85 B46	1	〃
	R196 G197 B191	1	平和記念公園
	R189 G178 B161	1	〃
	R229 G229 B219	1	広島平和都市記念碑
	R104 G113 B113	1	平和記念公園原爆慰霊碑
	R254 G253 B205	1	平和記念公園 平和の灯
	R244 G176 B131	1	〃
	R141 G132 B127	1	原爆の子の像
	R117 G118 B104	1	〃
	R211 G209 B198	1	平和記念公園 資料館
	R144 G141 B143	1	〃
	R31 G32 B52	1	海上自衛隊呉資料館
	R239 G28 B33	1	自衛艦旗
	R103 G114 B115	1	呉軍艦
	R99 G102 B107	1	呉基地護衛艦
	R122 G79 B67	1	大和ミュージアム
	R179 G120 B43	1	広島霊火堂

平和記念公園や公園の樹木などを平和の象徴として広島の色として選んだものは11件ある。また、記念公園内にある資料館や、平和の灯、慰霊碑、原爆の子の像などから抽出した者もいた。なお、平和の灯 (Peace Flame) は、原爆投下後に実家の書店で燃っていた火を懐炉に移したものを「平和の火」として管理していたものを、1964年に竣工した原爆死没者慰霊碑背面の「火台」に移したもので、反核と恒久平和実現まで燃やし続けられている。国内の競技

大会などでは聖火として採火されている、反核と平和の象徴である。レポートの内容は、広島＝原爆＝平和、について述べられている。戦争を知らない世代に、色を通じて平和学習機会が得られることに意義を感じた。

その他の戦争をテーマにした広島の色には、呉の大和ミュージアムや海上自衛隊呉資料館、軍艦などがあるが、これらは、広島＝戦争ではなく、呉の海軍への興味の有無であるように感じられた。また、呉は宮島と同様、広島市域、または、「ひろしま」文化圏というとらえ方では、圏域として認識されていることがうかがえる。

## 8. まとめ

前稿をまとめた2009年から5年後の2014年、2019年、そして2023年とほぼ5年ごとの広島をイメージする色の抽出割合を示した(図8-1～図8-3)。

本論では、前稿の広島の色(今川2009)から10年以上経過したことから、広島の色について再考した。本学の環境土木工学科3年生を対象とした「空間創造設計(必修)」を履修した学生に「広島の色」と題するレポート課題を与え、そのレポートを基に広島の色について考察し、色から

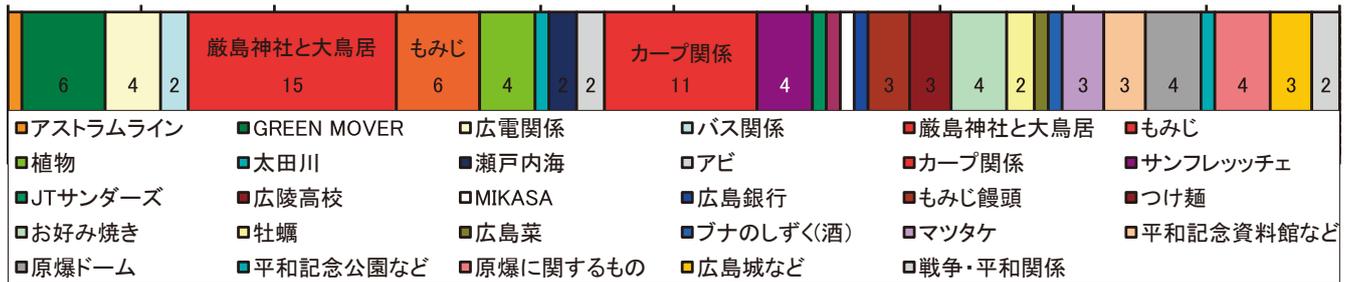


図8-1 2009年



図8-2 2014年

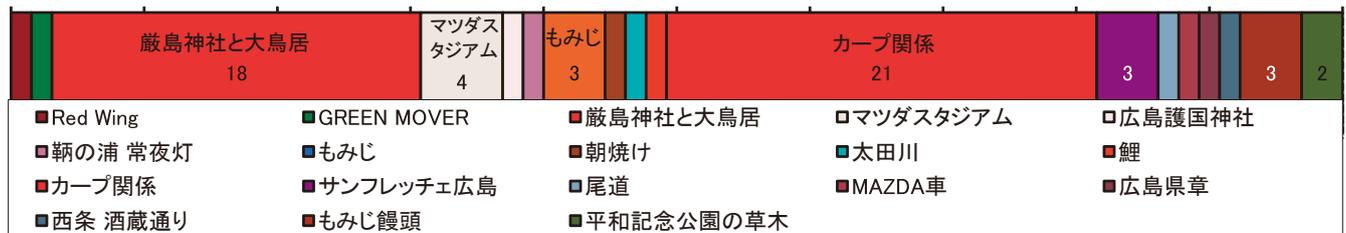


図8-3 2019年



図8-4 2023年

広島像を浮き上がらせようというものである。

提出された「広島の色」は、①広島の公共交通機関の色、②広島の建築物と工作物の色、③広島の自然の色、④広島の地域・企業・学校・チーム色、⑤広島の食べ物の色、⑥広島と戦争の色、の6つに大分類できた。

「公共交通機関の色」は、グリーンムーバーなどの広島伝に関わる緑（6件）やアストラムラインの黄色（2色）が挙げられたが全体的にみると少数派であった。「建築物と工作物の色」は、厳島神社とその大鳥居（合わせて174件）と多数であったが、宮島来島者数により増減する傾向が見られた。他にもマツダスタジアムやカープロード、音戸大橋など、建築物と工作物では赤系の色が多く選ばれている。「自然の色」では、宮島や帝釈峡、三段峡、縮景園などの自然の名所やそこに染まったもみじの色（19件）、瀬戸内海や太田川の水に関する色（17件）が挙げられた。

「地域・企業・学校・チームの色」は145件中105件がカーブ関連色である。しかし、2020年からその数は減少し、2023年には1件も挙げられていない。他にはサンフレッチェ広島（16件）の紫やMAZDAのソウルレッド、尾道などの歴史的な街並みに関する色が挙げられている。「食べ物の色」は、名産品であるもみじ饅頭（14件）やお好み焼き（5件）、お好み焼きソース（5件）などに加え、2009年時には選ばれていなかった広島レモン（19件）の黄色が挙げられている。「戦争の色」では原爆ドームが55件中30件挙げられた。原爆ドームの鉄骨部分の色の違いから年代ごとで挙げられる色に違いがあった。また平和記念公園の樹木等が挙げられ、それらの色が当時の悲惨さや現在の平和を伝えられるため原爆ドームの色や平和記念公園の樹木が広島の色として挙げられている。

様々な時代背景や年代によって広島の色は変化していることが確認できた。

## 註

- 1) 広島パブリックカラー研究会：目にはいる「色彩」を切り口にして、問題提起や研究、発表活動を行なっている団体。（<http://www.pc-ken.jp/>）
- 2) 宮島環境協会が塗装について動画などにより解説を行っている。（<https://www.miyajima.or.jp/>）
- 3) 都道府県別のソース・ケチャップの1か月間の支出は、総務省の平成21年全国消費実態調査によると、（二人以上の世帯）から1世帯当たり全国平均110円であるが、広島県では145円の支出金額であった。
- 4) 平成21年経済センサス－基礎調査ではお好み焼き・焼きそば・たこ焼き店の事業所数は全国に19,480軒あり、人口10万人当たり店舗数は15.21軒。広島県では人口10万人当たり61.77軒と最多であった。
- 5) 農林水産省の平成22年産特産果樹生産動態等調査によると都道府県別のレモンの収穫量は、全国数量6,629.5トン。広島県では3,402.0トン収穫し、全国の約5割を占めている。

## 文献

- 1) 今川朱美『都市の景色を彩る～京都の色』広島工業大学紀要（研究編）第42巻，2008.2
- 2) 今川朱美『広島の色～都市の景色を彩る』広島工業大学紀要（研究編）第43巻，2009.2
- 3) 福田邦夫『色の名前辞典』主婦の友社，2001
- 4) 広島らしい道路景観づくり調査・研究協議会「道路景観づくりの手引き」広島市，1990

## 参考資料

- 1) 農林水産省：特産果樹生産動態等調査（[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan\\_kazyu/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_kazyu/)）